

ライトノベルの登場人物における属性記述の定量的特徴

北原 央樹

本研究はライトノベルの特異的な特徴を登場人物の属性の側面から明らかにすることで、ライトノベルとライトノベル以外の小説（以下非ライトノベル）を比較し、「キャラクター小説」と呼ばれるライトノベルの特徴の妥当性を定量的に検証する。ここでの属性とは、小説の中で記述されている、人物の性格等の設定を指す。

分析対象としてライトノベルと非ライトノベルの両方を執筆している著者の作品群を 8 組選択し、小説から主要登場人物の属性を抽出し、作家ごと、および全体の平均でライトノベルと非ライトノベルの比較した。(1)小説ごとの属性の記述量、(2)登場人物の出現直後に属性を記述が集中する割合、(3)小説ごとの属性の重複の割合、(4)属性の種類ごと(「性格」「外見」など)の割合、の 4 項目について調査した。また、属性の抽出方法については、対象となる人物を修飾している語句や文章に注目し、登場人物の一面に対する記述が途切れるまでを一区切りとしている。

調査の結果、4 項目中 2 項目において差が有意だった。項目(1)では、小説一冊の中に現れる属性の記述量には有意な差はなかった。このことからライトノベルと非ライトノベルで登場人物の属性の量は同等だと考えられる。項目(2)では、小説内の属性の現れる部分を、登場人物ごとに文字数と登場回数の基準でまとめて比較した。この結果、ライトノベルは登場人物の出現直後に属性記述量の割合が多く、また、絶対数も多いことがわかった。項目(3)では複数回現れる同じ意味を持つ属性に注目し、重複回数を計測した。その結果、重複の量はライトノベルのほうが多く、重複の割合においても有意な差が見られた。項目(4)では、ライトノベルは「性格」「外見」「能力」「立場」の属性内容ごとの割合を調査したが、4 つの区分の割合は作者ごとに一定しており、ライトノベルと非ライトノベルの間に有意な差はなかった。

これらの結果から、属性の記述量はライトノベルと非ライトノベルの間に差はないが、ライトノベルは物語の早い段階で登場人物の属性を記述し、以降も同じ属性を複数回記述することで、人物の印象を強めていると考えられる。この傾向は今回分析したライトノベル全冊と、非ライトノベル全冊の比較から判ったものである。従って、ライトノベルと非ライトノベルを複数冊読むことで、読者はこれがライトノベルの登場人物を記述する方法であると、印象を持つと思われる。また、登場人物が現れてから早い段階に属性の記述が集中する理由としては、作者が意図的に登場人物の紹介文を執筆しているためだと考えられる。従って、属性記述の重複割合と、属性を多く記述する点において「キャラクター小説」論は成立する。

(指導教員 真栄城哲也)